

「情報処理技術の適用による有用情報の獲得と応用」特集  
Acquisition and Application of Useful Information through the Application of  
Information Processing Technology

論文誌C（電子・情報・システム部門誌）では、2027年8月号に「情報処理技術の適用による有用情報の獲得と応用」特集を企画いたします。

企業活動において、コンピュータによる情報処理技術は、事業成長や収益性に貢献するための情報システムとして必要不可欠です。古くは、給与計算の電算化にはじまり、生産管理や販売管理など、実に数多くのビジネスシステムが日常業務の効率化を支えています。

近年は、モノのインターネット（IoT）や人工知能（AI）技術による新しいビジネス変革の時代を迎え、従来型ビジネスシステムのデータベースでは扱いきれない非構造化あるいは半構造化ビッグデータについても、企業活動へ応用することの価値や期待感が高まっています。このような状況の中、デジタル技術や生成AIを用いて、製品やサービス、ビジネスモデルや組織を変革し、競争優位性を確立するための取り組み、即ち、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進が企業活動において不可欠な状況になりつつあります。

このような状況を鑑み、本特集号では、これからのビジネス変革の時代に求められる「情報処理技術の適用による有用情報の獲得とその応用」に関する先端研究、産業応用についての実証研究、技術革新、学術サーベイ、さらには、テクノロジーの活用、レガシーシステムからの脱却、デジタル人材の採用・育成などの事例研究について、さまざまな学界や産業界からの論文の投稿を募集します。

下記にキーワードを挙げますが、必ずしもこれにとらわれることなく、関連する周辺分野からの奮ってのご投稿をお待ちしています。なお、本特集号の掲載に間に合う採録（判定A）の期限は、掲載号の3ヵ月前の月の10日頃（2027年5月10日頃）となります。査読の都合により特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了解ください。

**キーワード：**デジタルトランスフォーメーション(DX)、経営情報システム、生産管理システム、販売管理システム、ERP、SCM、CRM、ファクトリーオートメーション(FA)、保全管理システム、製品ライフサイクル管理(PLM)、ビッグデータ解析、IoT、サイバーフィジカルシステム(CPS)、非構造化/半構造化データベース、コグニティブソリューション、RPA、人工知能、機械学習、ディープラーニング、ドキュメント分析（テキストマイニング）、Web3.0、生成AI

**投稿締切：**2026年10月26日（月）（締切厳守）  
詳細は電気学会の論文投稿手続きに従って下さい。  
<https://www.iee.jp/pub/post/> から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

**投稿方法：**投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。  
<https://mc.manuscriptcentral.com/ieej> からご投稿下さい。電子投稿・査読システムのトップメニューから『著者』を選択し、著者ダッシュボード画面において『投稿の開始』及び『電気学会論文誌C（電子・情報・システム部門誌）』を選択した上で、タイトルと要旨の記入、投稿種別で『論文』『研究開発レター』等、特集名で『「情報処理技術の適用による有用情報の獲得と応用」特集』を選択して、『保存して進む』から原稿を提出して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

**ゲストエディタ・問い合わせ先：**津田和彦  
筑波大学ビジネスサイエンス系  
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1  
E-mail: [tsuda.kazuhiko.gn\(アット\)u.tsukuba.ac.jp](mailto:tsuda.kazuhiko.gn@u.tsukuba.ac.jp) ⇒(アット)を@に変えてから送信ください。

企画協力：情報処理技術委員会